

下郷中

PTA
会報令和3年度
第94号編集発行
下郷中学校
父母と教師の会
編集発行
会長 露崎 充
編集発行
広報委員会○ PTA会長より
○ 校長より
○ 入学式一面 ○ 各委員会より
一面 ○ 【特集】子から親への
二面
二面
メッセージ
三〇四

PTA会長

あいさつ

露崎 充

日頃からPTA活動にご協力をいただき誠にありがとうございます。

コロナ禍でできないことが増え、夢をもつこと、夢を叶えること、夢に向かって頑張ること、今までできていたことが難しくなってしまうました。

できないことを数えるより、できることを数えてください。青春は一度きり。夢に向かって一緒に飛ぼう。

Searching for the meaning
Looking back what's leaving
Falling down again you
Lose control so easy

Yet, the only reason
There goes one more season
Can't you see what you can do?
All the things that you should lose

Find what is the truth, life just seems so cruel
Winner, loser never know who'll finally be the fool
Just release your heart
Light it on, Alert
The one and only matter that's the story and the start

Notice that you are not alone

Yeah come with us now,
Break the wall down, yes we can

Fly Again

Life just comes and go
Tomorrow never knows
Stand up once again to
Walk into the world for you

The feeling is so new
Believe in what you do
Don't you ever be afraid in losing
That's the clue

Find what is the truth, life just seems so cruel
Winner, loser never know who'll finally be the fool
Yes you are not alone
Yeah come with us now
Let us start it on, here we can

Fly Again

Falling down again
We meet again my friend
Life just comes and go
But tomorrow never knows
Find what is the truth, life just seems so cruel
Winner, loser never know who'll finally be the fool
But you are not alone we are not alone
We know what's waiting out there
We know where we should go

Living in the world is as he said
"Running like a rolling stone" we go down
The riddle and the rhyme is up to you
Feel the beat and this sound
You got to know You got to seize this now
Ready when you are, we're always here.
Off we go

Fly Again

MAN WITH A MISSION

校長あいさつ

我妻 雄比古

今年度も残すところあとわずかとなりました。振り返れば、コロナに始まりコロナで終わるような1年であったように思います。保護者の皆様には、感染拡大防止に向けて、適切に対応いただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

生徒達はコロナ禍により、様々な活動が中止や制限される中、自分ができることを前向きに考え、精一杯チャレンジしてくれました。修学旅行では、被災地の今をバスで移動しながら直接、「見て、聞いて、感じて」実感をともなった貴重な体験をすることができました。

した。現在、感染予防に努めながらの日々を送っていますが、自分や家族、周りの人の「命の大切さ」について改めて考える機会となりましたように思います。帰り道に立ち寄った四倉海岸での満面の笑顔と、大きな笑いは生涯の忘れることのない思い出になりました。

また、各種コンクールや大会等での活躍が相継ぎました。改めて、下郷中生徒の無限の可能性とパワーには驚かされました。

私たちには、変えられることが二つある。二つは、自分自身。もう一つは、未来だ。「これは、本県が生んだ世界的医学者、野口英世博士の言葉です。細菌という目に見えない敵と向き合い、気の遠くなるような数の実験を

されたそうです。そんな、博士の座右の銘は「忍耐」でした。博士の忍耐とは、単に堪え忍ぶというものでなく、夢や未来に向かって「あきらめない」との強い思いが込められていたそうです。博士が体現されたように、私たち1人1人が「現状を変えたい」という強い思いを抱き、共に力を合わせれば、必ずやこの困難を乗り越えることができると思います。

「未来をあきらめない」「未来は変えられる」先人の言葉を胸に学校・家庭・地域の連携を最大限に生かし、ワンチーム・ワンハートとなり感染拡大の防止に取り組んでいきましょう。自分自身の未来のため、そして、自分の大切な人の未来のために。



各委員会より

郡P研究大会下郷大会開催

研修委員長 長沼 千恵

今年度は下郷中学校が郡PTA連合研究大会の担当校となり、運営スタッフとして係りました。新型コロナウイルス感染症対策として、来賓招待・出席者を少なくし、事例発表を一部紙面発表にするなど、密集を避け時間を短縮し開催しました。

前回から会場が御蔵入交流館に固定になったことで、準備や運営に係る労力・時間がかなり軽減されたと感じました。少子化・過疎化によりPTA会員数が減少する中で、活動を継続させていく上では必要な変化だと思えます。長女の時から四度目の郡Pスタッフを経験し、時代の流れを感じます。今回は仕事が少ない分楽しくできました。

記念講演は、ミュージシャンの渡辺俊美さんをお招きして、著作本のタイトルでもある「461個の弁当は親父と息子の男の約束。」の演題でお話いただきました。実際に息子さんに作った弁当の画像や歌を交えながら、自身の子どもの関係わり方をお話頂きました。成人

した息子さんの生き方を今も温かく見守り、息子さんと良い関係を築いていることは、俊美さんの柔軟なものの考え方や人柄によるものだと感じました。こうありがたいものです。

スタッフの特権は、こういう時に講師の方に近く接する機会があることです。最後は俊美さんを囲んで記念写真を撮りました。郡P大会は講演を聴くだけでなく得るものがあると思います。研修委員だけでなく多くの人に参加してもらえたらと思います。

この二年間を終えて思うこと

広報委員長 玉川 祥子

昨年に引き続き今年の広報委員会も会議は開けず、この会報誌の話し合いも電話でのみ、ということになりました。本来なら委員会で見えを出し合い、コロナ禍でも子どもたちが一年間どのような生活に楽しんだのか最大限伝える内容にしたかったのですが、お忙しい先生方に全てを任せることになってしまいました大変申し訳なく、またありがたく思っています。同時に自分の仕事を全うできず残念です。

この一年間が、PTA役員の一人であるという自覚もほとんどないうちに終了し、以

前は煩わしきのが勝っていたPTA活動もやはり大事なものであったと感じています。PTA活動では先生方から直接学校の方針や意見を聞くことができますが、直にお話する機会どころか総会や参観日も中止となり書面やホームページから見ただけとなりました。でも、そんなさみしい気持ちに

みしさがこの会報誌を見ることで少しでも解消できたと思っています。

最後に、先生方、委員会の皆様、保護者の皆様、一年間ありがとうございました。来年こそは、この会報誌がたくさんさんの行事で、笑顔いっぱい楽しいものになりますようにと願っています。

生活指導の活動について

生活指導委員長 弓田 恭平

今年度も昨年度同様「新型コロナウイルス」の影響で田舎祭等が中止になってしま、生活指導委員としての活動ができませんでした。

来年はコロナウイルスが落ち着き、田舎祭等地域の行事に安心して参加できるよう生活指導委員、先生方に見守っていただけると幸いです。

最後に先生方、生活指導委員会の皆様、保護者の皆様に

厚生委員会の活動について

厚生委員長 渡部 沙織

今年度の厚生委員会の活動は、昨年度に引き続き「新型コロナウイルス」の影響で「町P連レク大会」「下中祭バザー活動」も中止となり、活動できませんでした。

今年は活動できるのではと思ってスタートしたのですが、保護者の皆様の中には、下中祭でのバザーを楽しみにしてくださっている方もいると思います。来年こそはコロナが落ち着き、活動できればと思います。

収まりそうもないコロナ禍のなかでは、人と人とのコミュニケーションをとることが難しい状況です。これからいろいろなことを考えながら、感染予防などをしっかりしたうえで、少しでも多くの行事が行えるようになってくればと思います。賛否両論あると思いますが、皆様が納得できる形で少しでも活動が再開されることを願っています。

最後に先生方、保護者の皆様、一年間ありがとうございました。

感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。

【特集】

子から親への メッセージ

ふだんはなかなか
言えないけれど、ちよっぴり本音を伝えよう



▼僕が中学生になってから三年間、支えてくれてありがとうがとうございました。不安なことがたくさんあったけど、毎日僕を第一に考えてくれて、うれしかったです。高校でもがんばるので、これからもよろしくお願ひします。

青山龍貴

▼私が学校に行きたくないっていったとき心配してくれたり相談に乗ってくれてありがとう。これ

からまた迷惑かけるかもしれないけどよろしくお願ひします。大井瑞葵

▼15年間育成してくれてありがとうでございます。今後レベルアップは、より難しくなっていくと思います。これからもゲームは続くので、クリア目指して頑張ってください。

櫻木美優

▼今まで、約15年間育ててくれてありがとうでございます。自分がやりたいと言ったことをほとんど実現させてもらいました。これからも応援やサポートよろしくお願ひします。佐藤日和

▼今まで育ててくれてありがとう。何か挑戦するたびに支えてくれてありがとう、お母さん。優しく見守ってくれてありがとう、お父さん。毎日送り迎えありがとう、ばあちゃん。これからも迷惑かけるけどよろしくね。

▼十五年間育ててくれてありがとうでございます。今まで、たくさんのお話を経験させてくれました。その経験をこれから生かしたいです。高校では毎日お弁当が必要になるので、また三年間よろしくお願ひします。

杉本和奏

▼突然で僕もびっくりして居るけど、家を出て寮で生活することになってしまいました。今まで頼りきりだったので心配していますが、今までのことを思っ、高校生活悔いのないよう生活するので、少しでもいいので応援して下さい。玉川裕理

▼今まで育ててくれてありがとう。みんなのおかげで高校に行けました。これから高校で、勉強、部



活頑張っていくので応援よろしくお願ひします。露崎天力

▼私が誕生して早十五年が経ちました。今ではすっかり長めに成長しました。ところで、お母様のフーフーフも長めに回せるよう、成長してほしいものです。これからもフーフーフと私の育成、がんばってください♡

長沼志保

▼私がやりたいと言ったことに何でも挑戦させてくれたことに感謝しています。話していいだけで辛いこともありました。この三年間で乗り越える力を手に入れました。これからも私の人生を応援してください。

星 真由

▼中学三年間に関わらず、今までありがとう。いろいろ迷惑かけたけどこれからもかけます。かわりにこれからは、自分も家族を支えられるように成長していきます。だからこれからも見守ってね。本当にありがとう。

武藤溜々花

▼自分は兄弟の中で一番手がかかったと思います。

小さいころに言語訓練に行ったり、学校に説明してくれたら、住みよい環境を作ってくれました。ありがとう。もう高校生ですがまだ高校生なのでよろしくお願ひします。

室井陽介

▼色々なことがあった15年間でした。3年間の中学校生活は本当に沢山の思い出が出来たと思います。高校受験を頑張るのでしっかりと見守ってください。受験に合格したら新しいロードバイクを買ってください。今までありがとう。

室井吏功

▼十五年間ありがとうでございます。高校生になっても迷惑をかけるかもしれないけど、温かい目で見守ってください。これからもよろしくお願ひします。

弓田 響

▼三年間ありがとうでございます。高校に行ってもサッカーを続けるので送り迎えなどこれからもよろしくお願ひ致します。サッカーをやるために勉強もちゃんとやるのでよろしくお願ひ致します。

弓田悠翔

▼中学三年間ありがとう。

僕のことなので、中学校卒業後もたくさん迷惑をかけていくでしょう。こんな僕を今までも、これからも見捨ててくれないことだけでも嬉しいです。本当にありがとう！

渡部泰蔵

▼お母さんお父さん、自分がかこまで成長するまで一緒にいてくれてありがとう。この中学校三年間いろいろなことがあったけど、支えてくれてありがとう。すごく助けられたし感謝しています。

渡部幸樹

▼いつも支えてくれてありがとうでございます。ガラガラしてばかりだけど、少しでも手伝いをできる



ように頑張ります。これからも迷惑をかけるけど、よろしく願いします。

五十嵐琉璃

▼お父さん、お母さん、妹、おばあちゃん、これまでありがとうございます。これからも僕は空気を読めないし、これからはもつとお金がかかると思いますが、これからもよろしく願いします。

五十嵐悠月

▼部活で疲れていたときも、受験のことで気持ち不安定だったときも、隣で支えてくれてありがとう。私が中学校生活を楽しく過ごすことができたのは家族のおかげです。本当にありがとうございます。

佐藤美唯

▼家族のおかげで学校に行くことができます。母へ、毎朝早く朝食を作ってくれてありがとう。父へ、疲れたときに、マッサージュしてくれてありがとう。これからもよろしく！

白澤悠馬

▼中学校三年間、部活や勉強、学校生活で挫けそうになった時、いつも助けてもらいました。我儘もた

くさん言ってしまったと思います。でも、ずっと支えてくれました。本当に感謝しています。ありがとうございます。

玉川史桜

▼中学校生活三年間支えてくれてありがとう。みんなが支えてくれたおかげで、たくさんの友達、たくさんの思い出ができました。三年間ありがとうございました。

玉川喬大

▼三年間、毎日僕のことを見守ってくれて感謝しています。部活動で僕が苦しんでいるときも、家族は僕を支えてくださりとても感謝しています。本当にありがとうございます。

玉川夢斗



せんでした。高校を県立にしろって言われてたけど勉強さばって私立ですみません。これからも迷惑かけると思いますがよろしく願いします。

星 煌樹

▼ここまで育ててくれてありがとうございます。何度か反抗してしまいましたが、さん喧嘩をしました。おかげでたくさんのお話を学べました。高校生になってもたくさん迷惑かけますが、見守ってくれると嬉しいです。お願いします。

星 真莉

▼家族の皆さんへ。自分が悩んでいるときやイライラしているときでも優しく寄り添ってくれてありがとう。今後、家族に迷惑をかけないように自分で自立しながら生きていきたいです。これからもよろしく願いします。

室井奏人

▼サッカーの送り迎えをしてくれてありがとう。朝早くから夜遅くまで、サッカーの練習や試合があつても付き添ってくれてありがとう。これから手を焼かせると思うけど、よろしく願いします。

ど、よろしく願いします。

室井悠佑

▼家族に感謝を言いたい。僕が、悲しんだり、イライラしたりしたとき、家族が支えてくれました。ぼくは、家族の支えで涙が止まりませんでした。本当にありがとうございます。

室井 伶



▼息子さんの卒業おめでとう、ありがとうございます。息子が、やれサイクリングだやれ雪遊びする度に、超人配おかけしてごめんなさい。でも皆のおかげでとても順調に生存できました。ありがとうございます(大号泣)。絶対に長生きしましょう。

湯田 護

▼三年間はあつという間で

はありましたが、その中でも、家族にはたくさん迷惑をかけたと思います。それでも、いろんな事に気を使って接してくれて、本当に感謝しています。ありがとうございます。

宇梶唯河

▼この3年間でたくさんの迷惑をかけました。しかし、見捨てるようなこともし、ただ僕の成長のために叱ってくれたことに感謝しています。まだ迷惑をかけるかもしれませんが、これからもよろしく願いします。

星 心和

▼僕をここまで育ててくれた家族の皆さん、今までありがとうございます。言うことを聞かない日もあったと思います。それでも諦めずに育ててくれたことが僕は嬉しいです。これからも手間がかかると思いますが、どうかよろしく願いします。

弓田望翔

▼中学三年間ありがとうございました。学校までの送り迎え本当に感謝しています。進路のことでは、いろいろと悩んだりしたけど相談につけてくれてありがとうございます。

二宮澤依

▼3年間ありがとうございました。おかげで楽しく中学校に通えました。学校では工作やれて幸せでした。これからもよろしく願いします。

佐藤拓海